

平成 15 年度「特色ある大学教育支援プログラム」
採択取組の概要および採択理由

大学・短期大学名	日本福祉大学	整理番号	1-4-032
応募テーマ	主として学生の学習及び課外活動への支援の工夫改善に関するテーマ		
取組名称	学生とともにすすめる障害学生支援 —障害学生とともに全学生が成長しあう教育システム—		
申請単位	大学全体		
申請担当者	加藤 幸雄		
(取組の概要)			
<p>創立時から障害学生の受入を行ってきた日本福祉大学には、現在 153 名の障害学生が在籍している。本学における障害学生支援の特徴は、学習弱者を生まないシステム作りを基本に、①障害学生を「サービスの受け手」ではなく、「ともに考え、育ちあう仲間」として位置づけていること、②入学から卒業まで一貫した支援体制を行っていることである。障害学生自身が自らの能力を伸ばして主体的に成長するとともに、支援する学生・教職員も障害学生と接する中で、広い視野と豊かな人間性を身につけて成長していく。支援事業を通じて、心のバリアフリー化が図られるとともに、教育・研究の改善・発展が図られている。平成 10 年の障害学生支援センター発足により、全国に先駆け、大学のシステムとして支援事業が展開されている。本学では、この支援事業の経験を生かして、教育のユニバーサルデザイン化や企業と連携した障害者・高齢者支援機器開発、地域と連携したサポート学生の育成化と地域のバリアフリー化の促進を、教育研究活動の一環として積極的にすすめていく計画である。</p>			
(採択理由)			
<p>この取組は、日本福祉大学の教育目標である「万人の福祉のために、真実と慈愛と献身を」を実現するために、すでに 33 年にわたって組織的に実施されてきております。</p> <p>この取組は、関係者の永年の努力により、健常学生も含めた、総合的な教育、学習機能をも備えたシステムに発展させてきております。特に障害学生に対する入学から卒業までの一貫した支援とともに、大学全体が障害者支援者育成の場となり、学内障害者の支援を通じて障害学生と健常学生がともに成長しあう教育実践の場となっており、またその活動成果を積極的に社会に還元している点についても優れた面があり、全体として優れた特色が認められ、他の大学に対し十分参考になる事例と認められました。</p>			